

入賞

森 やす子 [滋賀県/67歳] テーマ「いのち」

親鸞様の御正忌を前に我家のおとりこしを今年も孫達と共におつとめさせて頂けたこと大きな喜びです。

雪が来る前に田畑の収穫物の恵みに感謝する恒例の行事ですが最近では家族そろって仏前にすわることもままならぬ忙しさです。亡き母が元気だった頃はおば達親類縁者が集って旬の野菜料理の数々に忘年会さながらのにぎやかな報恩講でした。その頃は見よう見まねの畑作でもおいしい野菜が自給自足できたのですが、近年の気象の激変や食生活の変化でずい分様変わりしてしまったこと近所の人々との会話もなく心さみしいあわただしさだけの暮らし方になってしまいました。

御門主様は20年も前から環境悪化させる暮らしに警鐘をならして下さっていたとか、私達には「地球温暖化」という言葉の印象からはどう悪化するのか想像が付きませんでした。今に到ってその現実には誰もが危機や不安を感じる時代となりました。そんな中、農家が育てるおいしい米や野菜は多くの命を宿している土、水、空気の中でたくましく育ってくれることを実感する日々です。除草、殺虫と薬剤で邪魔物を排除するのではなくすてる物を堆肥発酵させたり有効利用して循環させる知恵等すべての命が生きやすい環境づくりこそ『命を守り育てる本当の農業!!』と感ずる昨今です。1㎡の土にはみみずをはじめ目にみえないバクテリアまで何億という命が生きていることを知り命と命の共鳴がおいしい米や野菜を育て、おいしい食物が元気な人を育て、たくさんの元気な人の心のハーモニーが安穏な社会につながっていくんだ、その働きが仏様!!と実感しています。折しも食前の言葉が「み仏と皆様のお陰によりこのご馳走を恵まれました」から「多くの命と…」に変わりました。生きとし生きるすべての命を輝き生かして下さるお働きが阿弥陀様!! 喜びも悲しみも不安や怒りもお念仏様が口から出て下さり落ちつきます。なまんだ仏、親鸞様ありがとう!!